

3～6年生 実践事例

「買い物から社会を考える」

| | |
|------------------|--|
| 指導目標 | <p>◎昔の地域の人々の食生活が変化していることを知っている。</p> <p>◎食料生産に従事している人々の工夫、生産地と消費地を結ぶ運輸の働きを理解している。</p> <p>◎地産地消や交通手段選択の配慮で、日常生活から環境にやさしいライフスタイルを送ることができることを理解し、行動しようとしている。</p> |
| 流通（交通手段）を教材とする利点 | <p>フードマイレージゲーム（買い物キット）を使って、70年代と現代グループに分かれ夕食を考え、物価や食材、流通（物流の手段）等の違いを発見することで、身近な生活の視点から地産地消の大切さや環境問題について気づき、発表力や表現力に繋がる。体験型の授業であり、子どもたちの高い取組意欲が期待できる。発展授業として、市内の野菜を使って調理実習に繋げることができる。</p> |
| 対象学年 | 3・4・5・6年生 |
| 対応教科 | 社会科、総合的な学習の時間（環境・食育） |
| 標準校時 | 2コマ |
| 学習構成 | <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">1. 今日の夕食を作ろう！</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <ul style="list-style-type: none"> ・“1970年グループ”と“現代グループ”に分かれ、それぞれの買い物キットを使って、夕食の買い物をする。具体的には、まず買い物先と乗りものを選び、その後、食材カードを使って、決められた予算内で夕食の買い物をする。 ・買い物した食材を使って、夕食の絵を描く。 ・グループごとに夕食メニューの発表をする。 </div> <p style="text-align: center;">2. 食はどこからどうやって運ばれてくるのだろう</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <ul style="list-style-type: none"> ・選んだ食材カードの裏のシールを産地別に日本地図に貼り、昔と現在の生産地の変化に気づく。 ・食材カードの裏のフードマイレージカードのCO₂排出量を計算し、近場の食材を選ぶことで環境負荷が減ることに気づく。 </div> <p style="text-align: center;">3. 望ましい交通社会をつくるには何ができるだろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境にやさしい買い物のために、自分たちにどのようなことができるかを考える。 ・いろいろな事から自分で判断して行動できることの大切さを知ることができる。 </div> |

「フードマイレージ」ゲーム（買い物ゲーム）の進め方

1 用意する道具

- ◆食材カード
- ◆交通手段カード・お店選択カード
- ※カード貸し出します
- ◆産地地図（日本地図または世界地図）
- ◆マジックペン（色鉛筆、クレヨンなど）
- ◆電卓



食材カードはこんな感じです

2 買い物に行きます

- ◆1970年チームと現代チームに分かれます
- ◆カードで買物に行くお店を選びます
- ◆カードで交通手段を選びます
 - ◎自転車・徒歩 ◎電車・バス
 - ◎自動車（1970年チームには自動車はありません）



3 夕食を作ります

- ◆予算内（4人家族：1970年／550円、現代／1400円）で、食材カードを選び夕食の買物をします
- ◆夕食の絵を描きます
- ◆食べたつもりで、夕食のメニューを発表します



夕方の献立を考え食材を選び、夕食の絵を描きます

4 フードマイレージを計算します

- ◆食材カード裏の食材シールを産地別に地図にはります
- ◆食材カード裏の封筒のカード（★印＝CO2:20g）でフードマイレージに応じたCO2の量を計算します
- ◆交通手段ごとのCO2の量を計算します



食材カードの裏のシールを地図にはりフードマイレージを計算します



5 食後のたんらん

- ◆1970年のチームと、現代チームのフードマイレージを発表します
- ◆1970年と現在の比較をします
- ◆日常生活でなにができるかを考えます



1970年チームと現代チームのフードマイレージを発表します

資料：フードマイレージ教材化研究会（あおぞら財団）ホームページ